

香川大学教育学部からの出前講座⑤（1年） を実施しました

10月2日、香川大学教育学部から小方直幸先生をお招きし、「友達関係の社会学」という題で、教育創造コースの1年生にご講義いただきました。



SNSについて、肯定的な意見と否定的な意見を付箋に書き、ボードに貼って比べてみました。



匿名で誹謗中傷されたり、悪いことをしようと近づいてくる人がいたりします。伝えたいことが正しく伝わらず、誤解を招く恐れもあります。



とても便利で、知りたい情報を簡単に手に入れることができます。たくさんの人とも繋がることができ、連絡もすぐに取れます。

高校生の半数以上がネット依存症とも言われています。心当たりのある人はいませんか？同時に、SNSに関して悩みや負担を感じている高校生がクラスに一定数いて、人間関係のしんどさやトラブルを体験しているという調査結果もあります。



「私がみている自分」と「私がみせている自分」について考え、自分で自分を見つめてみました。自分でキャラを演じることの良い所悪い所も考えてみました。今まで考えもしなかったことについて考える時間を持つことができ、自分の中にあつたもやもやが少し解消された気持ちになりました。

居心地が良いだけの場所に居続けるのではなく、自分のためには、居心地が悪い場所にも行く必要があるのだと気づきました。今日は、ありがとうございました。



